

NEWS RELEASE

平成28年10月4日

お客様へ

株式会社 栃木銀行
取締役頭取 黒本淳之介

ブロックチェーン技術等を活用した国内外為替一元化検討に関する コンソーシアムへの参加について

株式会社栃木銀行（取締役頭取 黒本 淳之介）は、SBI ホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：北尾 吉孝、以下「SBI ホールディングス」）及び SBI Ripple Asia 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：沖田 貴史、以下「SBI Ripple Asia」）が事務局を務める「国内外為替の一元化検討に関するコンソーシアム」に発足メンバーとして参加することで、合意となりましたのでお知らせします。

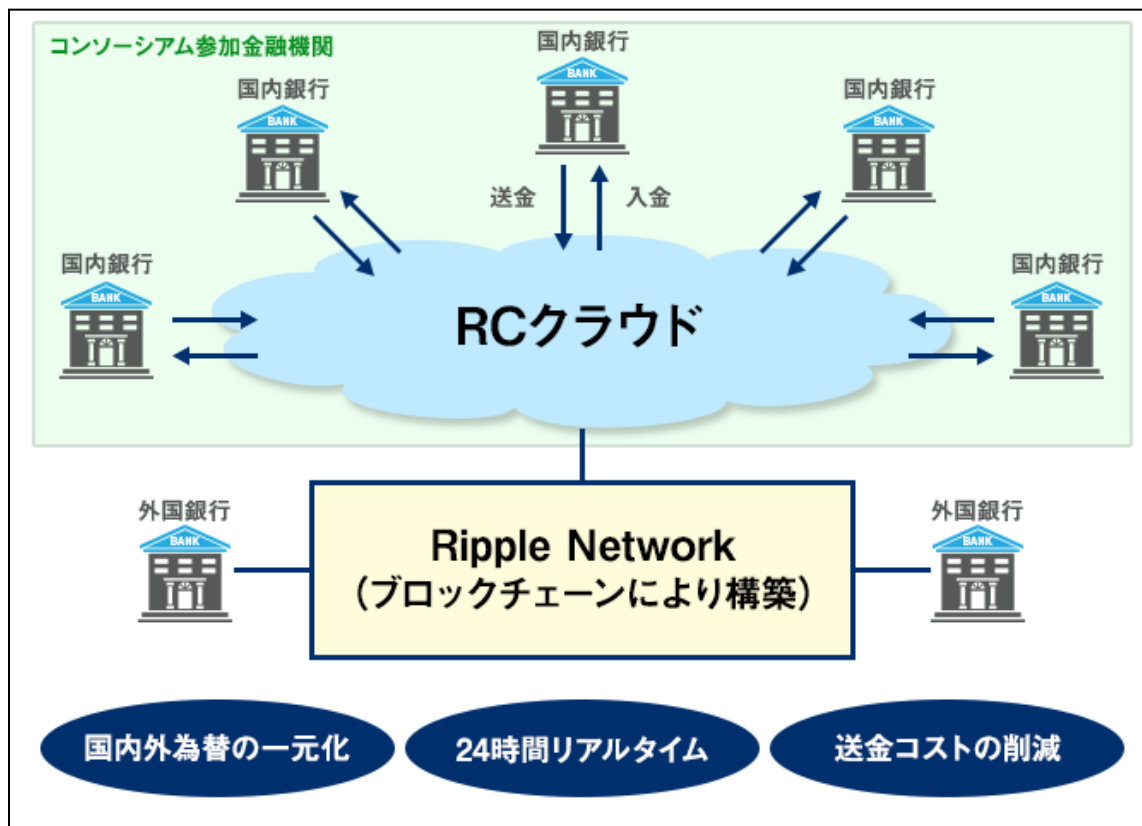
ブロックチェーン技術は、FinTechにおける革新的な中核技術であり、金融機関システムの安定性を向上させつつ、より柔軟で効率的なシステム構築を実現する可能性を秘めています。

本コンソーシアムの事務局は、ブロックチェーン技術を活用した次世代決済基盤をアジア地域で展開するSBI Ripple Asiaが担います。本コンソーシアムでは既に欧米の金融機関を中心に利用が進む米Ripple社の次世代決済基盤「Ripple Connect」（※1）を用いて、外国為替に加えて内国為替も一元的に行う決済プラットフォーム「RCクラウド」を、2017年3月を目途に構築します。

当行は、本コンソーシアムへの参加銀行と共同で、活用方法、国内外為替にあたって必要となる業務に関して、技術・運用の両面での議論を重ねて参ります。

NEWS RELEASE

「ブロックチェーン技術等を活用した国内外為替一元化のイメージ」



- (※1) 「Ripple Connect」とは、FinTech分野を先導するベンチャー企業である米Ripple社が提供する次世代決済基盤です。海外送金では複数の中継銀行を経由するため、時間やコストの不確実性等が問題となっておりましたが、「Ripple Connect」では、送金側と着金側をマーケットメーカー（※2）で直結させることで送金コストの削減、取引時間の短縮を実現するとともに、プロセスの可視化が容易となります。「Ripple Connect」は既にグローバル銀行上位50行のうちの15行に導入され、30を超える銀行が実証実験を完了しています。
- (※2) マーケットメーカー（market maker）とは、特定の通貨に関して一定量の在庫を持ち、売り値と買い値をほぼ日常的に参加者に提示して実際にその価格で参加者との売買に応じる銀行やその他金融機関等のことです。